

# WebClass アップデート資料

## Ver.11.14.0 リリースノート

### 1 概要

---

レポート採点画面をリニューアルしました。これまでよりも連続的な採点作業がやりやすくなります。また、LTI 1.3 Advantage に対応しました。コースメンバー情報の同期や成績情報の取得など、連携できる情報が拡張されます。

#### 1.1 必要な環境

- WebClass ver.11.02 以上
- PHP require 5.3 ~ 7.3
- PostgreSQL require 8.4 ~ 13

#### 1.2 アップデート時に確認が必要な点

v11.12.0 以降からのアップデートでは、アップデートに時間のかかる処理はありません。「主な変更点」および「変更点一覧」をご確認ください。

## 2 主な変更点

### 2.1 レポート採点機能

レポート採点機能をリニューアルしました。これまではPCブラウザ用の採点画面とスマホ・タブレット向けの採点画面の2種類がありましたが、新しい採点画面に統合しました。

新しいレポート採点画面では学生の解答と採点フォームが複数縦に並んで表示されるため、スクロールしながら次々に採点できます。

The screenshot displays the '記述式のシンプルなレポート' (Simple Descriptive Report) interface. At the top, there are tabs for 'レポート採点' (Report Grading) and '未提出者' (Non-submitters). Below this, there are filters for 'データの読み込み' (Data Loading) and '絞り込み条件' (Filtering Conditions). A progress bar shows '抽出した件数 99 件 / 読み込んだ件数 109 件 (2023-02-28 14:18:10)'. The main area shows two student reports, '検証学生02(sample-user02)' and '検証学生03(sample-user03)', each with a 'Q.1' question. The first report has a yellow highlight on the text 'ER図って、実際の開発現場でも書いて使うのでしょうか? テーブルが沢山あるとごちゃごちゃして見づらい気がします。' and a purple highlight on the comment 'コードだけでは見づらいので、'. The second report has a yellow highlight on the text '今日は寝坊して遅刻しました。済みません。'. Each report includes a 'レポート' (Report) section with a text area, a '採点' (Grading) section with a score input and 'クリア' (Clear) button, and a 'コメント' (Comment) section with a text area and '定型文' (Template) dropdown. At the bottom of each report, there are '再提出指示' (Resubmission Instructions) and '保存' (Save) / 'リセット' (Reset) buttons.

書き換えたフォーム色がつき、点数やコメントが保存されていないことが分かるようになっていきます。

記述式の解答では、空白文字のハイライト切り替えができます。キーワードが設定されている場合は、キーワードごとに該当箇所のハイライトを切り替えることが出来ます。

ループリックは、最初は畳まれて表示されます。行タイトルを開いて展開出来ます。

山田 功(ST0A002)  編集中...  
未

提出日時: 2022-09-09 11:49:08

なお、ソメイヨシノという表記は、一般的にはエドヒガンとオオシマザクラの種間雑種から生み出された特定の一つの栽培品種（本ページの主題）を指すが、便宜的にエドヒガンとオオシマザクラの種間雑種のサクラ全てを指している場合もある。その場合には、その2種による種間雑種の中から生み出された特定の一つの栽培品種（本ページの主題）については、漢字をシングルクォーテーションで囲んだ「染井吉野」と表記して、両者が混同されないように区別して表記されることが望ましい。(wikipedia)

キーワードの利用率:100.00%, 予測得点: 20      文字数: 1242      スペース (半角:444, 全角:0, タブ:0)

サクラ: 7      ソメイヨシノ: 4      クローン: 1      改行: 8

採点 得点 **9** / 20      0点に設定      クリア      縦向き表示

	最終基準 4 (4)	中間基準 3 (3)	中間基準 2 (2)	ベンチマーク 1 (1)
必要な情報の範囲...	<input type="radio"/> リサーチ・クエ...	<input checked="" type="radio"/> リサーチ・クエ...	<input type="radio"/> リサーチ・クエ...	<input type="radio"/> リサーチ・クエ...
必要な情報にアク...	<input type="radio"/> 効果的でうまく...	<input checked="" type="radio"/> 様々な検索方法...	<input type="radio"/> 簡単な検索方法...	<input type="radio"/> 無作為に情報に...
情報と情報源を批...	<input type="radio"/> 徹底的に(体系...	<input checked="" type="radio"/> 自分と他人の仮...	<input type="radio"/> 仮定に疑問を持...	<input type="radio"/> 物事に対して考...
具体的な目標を達...	<input type="radio"/> 情報源からの情...	<input type="radio"/> 情報源からの情...	<input type="radio"/> 情報源からの情...	<input type="radio"/> 情報源からの情...
倫理的、法的に情...	<input type="radio"/> 学生は以下の情...	<input type="radio"/> 学生は以下の情...	<input type="radio"/> 学生は以下の...	<input type="radio"/> 学生は以下の情...

列が多くて窮屈なときは「縦向き表示」に切り替えて表示することが出来ます。

採点 得点 **9** / 20      0点に設定      クリア      横向き表示

必要な情報の範囲を決定する 行の展開切り替え


最終基準 4 (4)	<input type="radio"/> リサーチ・クエスチョンや論文の 範囲を効果的に定...
中間基準 3 (3)	<input checked="" type="radio"/> リサーチ・クエスチョンや論文の範囲を完全に定め...
中間基準 2 (2)	<input type="radio"/> リサーチ・クエスチョンや論 文の範囲を不十分では...
ベンチマーク 1 (1)	<input type="radio"/> リサーチ・クエスチョンや論 文の範囲を定めるのに...

必要な情報にアクセスする 行の展開切り替え

最終基準 4 (4)	<input type="radio"/> 効果的でうまく計画された検索方 法と最適な情報源...
中間基準 3 (3)	<input checked="" type="radio"/> 様々な検索方法と適切な情報源を用い情報にアクセ...
中間基準 2 (2)	<input type="radio"/> 簡単な検索方法を用い情報にアクセスし、限られた...
ベンチマーク 1 (1)	<input type="radio"/> 無作為に情報にアクセスし、 関連性がなく、質の低...


情報と情報源を批判的に評価する 行の展開切り替え

PDF ファイルのレポートが提出されているときは、「Preview」ボタンでプレビュー出来ます。

学生user0001(user0001)  2

提出日時: 2023-02-28 11:25:18

Q. 1 提出日時: 2023-02-28 11:25:18

レポート [wikipedia2.pdf](#)  Preview

添削ファイル  No file chosen

元に戻す

レポート採点画面から開く「レポート一覧」画面も新しくなりました。絞り込みができるだけでなく、最大で3段階のソート指定ができます。

### 記述式のシンプルなレポート

**データの読み込み**

レポート採点画面評価 ● 登録ユーザのみ ○ 管理者を含む ○ ゲストを含む

再読み込み

**絞り込み条件**

条件の変更 未採点の解答だけ抽出 並び順: ユーザID ↕

抽出した件数 99 件 / 読み込んだ件数 109 件 (2023-02-28 14:29:08)

1 2

✉ メッセージ

<input type="checkbox"/>	氏名	ユーザID ↕	設問	提出日時	成績	得点	合計点	再提出指示
<input type="checkbox"/>	<span style="color: #0056b3;">✉</span> 検証学生02	sample-user02	Q.1	2022-05-25 10:23:50	未	0	0(未)	
ER図って、実際の開発現場でも書いて使うのでしょうか？テーブルが沢山あるとごちゃごちゃして見づらくていらいます。								
コメント								
<input type="checkbox"/>	<span style="color: #0056b3;">✉</span> 検証学生03	sample-user03	Q.1	2022-05-25 10:24:28	未	0	0(未)	
今日は寝坊して遅刻しました。済みません。								
コメント								
<input type="checkbox"/>	<span style="color: #0056b3;">✉</span> 山下 直之	ST0A007	Q.1	2022-06-24 15:43:08	未	0	0(未)	

表の表示設定も柔軟に設定できます。解答を非表示にして点数表として使うことも、氏名や成績を非表示にして解答一覧だけを表示することもできます。

**絞り込み条件**

条件の変更 学生毎に最新の解答だけ抽出 未採点の解答だけ抽出 並び順: 成績 ↕ ユーザID ↕

抽出した件数 99 件 / 読み込んだ件数 109 件 (2023-02-28 14:29:08)

1 2

✉ メッセージ

<input type="checkbox"/>	氏名	ユーザID	設問	提出日時	成績 ↕	得点	合計点	再提出指示
<input type="checkbox"/>	<span style="color: #0056b3;">✉</span> 検証学生02	sample-user02	Q.1	2022-05-25 10:23:50	未	0	0(未)	
<input type="checkbox"/>	<span style="color: #0056b3;">✉</span> 検証学生03	sample-user03	Q.1	2022-05-25 10:24:28	未	0	0(未)	
<input type="checkbox"/>	<span style="color: #0056b3;">✉</span> 山下 直之	ST0A007	Q.1	2022-06-24 15:43:08	未	0	0(未)	
<input type="checkbox"/>	<span style="color: #0056b3;">✉</span> 岡本 忠	ST0A011	Q.1	2022-06-24 15:43:08	未	0	0(未)	
<input type="checkbox"/>	<span style="color: #0056b3;">✉</span> 山崎 匠	ST0A012	Q.1	2022-06-24 15:43:08	未	0	0(未)	

### 2.1.1 制限事項

これまでの採点画面の機能と比べて、以下の制限事項があります。4月末～5月上旬ころのアップデートパッチで対応する予定です。

- 採点画面
  - PDF のレポートのプレビューは、リンク教材の課題に提出された他のコースのレポートを表示できません。
  - 課題の問題と解説は、レポート採点画面で表示することは出来ません。
  - 採点画面で直接にレポートファイルを代理提出することは出来ません。「採点結果の取り込み」を利用してください。
- ファイル出力
  - 画面上に設定した絞り込み条件が反映されません。
- ユーザズマニュアル
  - まだ説明が更新されていません。

## 2.2 LTI Advantage に対応

LTI Version1.3 の拡張機能である LTI Advantage に対応しました。

1EdTech Certifications: WebClass

<https://site.imglobal.org/certifications/datapacific/webclass>

LTI1.3 の通信機能に加えて以下の機能が利用可能となります。

- コースユーザ情報の同期
- 教材名、実行 URL の取得
- 成績情報の取得

システム管理者もしくはコース管理者の「LTI ツール設定」から機能を有効化して使用します。

The image shows a web form titled "LTIツール新規登録" (LTI Tool New Registration). The form contains several input fields and checkboxes. A red rectangular box highlights the following section:

- コースユーザ情報の共有  使用する
- ディープリンク  使用する
- ディープリンクURL
- ツールによる成績の更新  使用する

Other visible fields include: ツール名 (required), 説明, LTIバージョン (radio buttons for LTI 1.1 and LTI 1.3), 公開鍵の取得方法 (radio buttons for "公開鍵セットURLを設定" and "公開鍵を設定"), 公開鍵セットURL, ログインURL, リダイレクトURL, ツールの表示 (radio buttons for "表示" and "非表示"), and カスタムパラメータ. A "新規登録" button is at the bottom.

※接続先ツールが LTI Advantage に対応しているか事前にご確認の上ご利用ください。

## 2.3 SMTP + OAuth

OAuth2.0 認証を用いたメール送信に対応しました。Gmail や Exchange Online で利用可能です。

### メール機能の設定

メール機能許可	<input checked="" type="radio"/> 使用許可 <input type="radio"/> 使用禁止
メールタイプ	<input checked="" type="radio"/> SMTP <input type="radio"/> Gmail API
添付ファイルの最大サイズ	<input type="text" value="0"/> KByte (Default: 0 [無制限])

### SMTP

自動送信用メールアドレスを指定すると、常に送信者(sender)として指定したアドレスが使用されます。指定しない場合はユーザ自身のアドレスが送信者(sender)として使用されます。

自動送信用メールアドレス	<input type="text"/>
HELO ドメイン	<input type="text"/> (Default: ", this means 'localhost'")

#### SMTP サーバ 1

サーバアドレス	<input type="text" value="smtp.office365.com"/> <small>略号通信を使用する場合は tds://smtp.servername と入力してください</small>
ポート	<input type="text" value="587"/> (Default: 25)
SMTP Auth	<input type="checkbox"/> SMTP Auth を使用する

OAuth2.0	<input checked="" type="checkbox"/> OAuth2.0 を使用する	ユーザ名	: <input type="text"/>
		クライアントID	: <input type="text"/>
		クライアントシークレット	: <input type="text"/>
		認可URL	: <input type="text"/>
		トークンURL	: <input type="text"/>
		スコープ	: <input type="text"/>
		リダイレクトURL	: <input type="text" value="http://192.168.100.117/webclass/oauth.php/mail/callback"/> <small>OAuth認証のリダイレクトURLには上記のアドレスを設定してください</small>
		<input type="button" value="トークンを取得する"/>	<input checked="" type="radio"/> トークン未取得

#### SMTP サーバ 2

特定のメールアドレスに対しては別の SMTP サーバを使うことができます。

必要事項を入力の上、トークンをご利用のサービスから取得します。設定完了後は取得したトークンを用いてメールを送信します。

## 3 変更一覧

---

### 3.1 メッセージ

- 時間割の下に表示される参加コース一覧に新着メッセージ件数を表示するようにしました。(!3203)

### 3.2 教材

- 教材の公開/非公開設定で一括設定をする時、日時不整合に対してアラートを表示しないよう変更しました。(!3176)

### 3.3 ユニット

- 教材の途中でしおりをつかって閉じると、しおりから再開したとき、その次の教材の学習履歴では利用時間に前の教材の利用時間が含まれていたのを修正しました。(!3196)

### 3.4 出席

- 出席状況一覧の CSV の全ての日付ヘッダー(コマ名)に、西暦年も出力されるように調整しました。(!3213)
  - Excel で CSV を開いた際に正しくない西暦年が自動補填される問題を解消しました。

### 3.5 レポート採点

- レポート採点画面をリニューアルしました。(!3226, !3240)
  - これまで PC 用の画面とタブレット向けの画面と 2 種類ありましたが、リニューアルした画面に統合しました。
- 再提出指示を出したとき、通知メッセージと通知メールとで文面が異なったため、統一しました。(!3240)
  - 今までは通知メールにだけ「課題につけられたコメントは[マイレポート]から参照できます」という文言がありました。通知メッセージにもこの文言が入ります。
- ブランクレコードを生成したとき、以下の 2 点を修正しました。(!3210)
  - 解答日時の更新
    - 一度は教材を開いて「未解答」の記録だけが残っている学生に対してブランクレコードを生成したとき、設問の解答日時をブランクレコード生成日時に上書きするようにしました。
  - 学習履歴
    - リンク教材の解答に対してブランクレコードを生成したとき、学習履歴は元教材にだけ生成していました。リンク教材でも対応する学習履歴を出力するようにしました。
    - 特にピアレビューで未解答の学生にもレビューに参加して欲しいとき、この変更によりリンク教材であってもブランクレコード生成することでその学生がレビューに参加できるようになります。



### 3.6 LTI

- LTI 教材を含むユニットをコピーできてしまう不具合を修正しました。(I3190)
- LTI Advantage に対応しました。(I3186)
- LTI 教材実行時、氏名に含まれる機種依存文字を「\*」に置き換えるオプションを追加しました。(I3204)

### 3.7 コース管理

- メンバーの「アクセスログ」画面でダウンロードできる CSV ファイルでは、合計利用時間が 24 時間を超えたときに日数の表示をしていました。画面表示と同じ時間表示に統一しました。(I3230)
  - 例 "1 day 25:22:30" => "49:22:30"

### 3.8 メール機能

- OAuth2.0 認証による SMTP 通信に対応しました。Gmail や Exchange Online の SMTP サーバに対して、OAuth2.0 を利用したメール送信が可能です。(I3156)

### 3.9 学習カルテ

- 「他コース利用状況」の項目を新規で設定できないようにしました。(I3215)
  - 既存のカルテで既に設定済みの「他コース利用状況」の項目は継続して利用できますが、その項目を 1 度消去すると再設定することはできません。
  - 新規のカルテ、もしくは「他コース利用状況」を設定していない既存のカルテでは、プロフィールの項目の選択肢に「他コース利用状況」が表示されなくなります。
  - 重くてシステムを不安定にさせかねないため、また仕組みが古く改善の見込みがないためです。

### 3.10 学習記録ビューア

- 学習記録ビューア v4.5.6 => v4.6.3
- 教職履修カルテプラグイン v2.3.0 => v2.3.1
- 課題実施状況一覧プラグイン v3.1.0 => v3.3.2
- 修学カルテプラグイン v2.30.1 => v2.37.0
- WebClass ユーザ活動情報プラグイン v2.3.2 -> v2.3.3
- 組織管理プラグインはパッチに含めないようにしました。
  - 以降このプラグインに関するアップデートはありません。
  - このパッチをすでに組織管理プラグインが入っている WebClass に当てても、組織管理プラグインが削除されることはありません。

# Ver.11.14.1 リリースノート

## 1 概要

---

レポート採点画面のレポートファイルエクスポート機能に、並び替えやフィルター条件が反映されるようになりました。その他、細かな不具合修正が含まれます。

### 1.1 必要な環境

- WebClass ver.11.02 以上
- PHP require 5.3 ~ 7.3
- PostgreSQL require 8.4 ~ 13

### 1.2 アップデート時に確認が必要な点

v11. 12.0 以降からのアップデートでは、アップデートに時間のかかる処理はありません。「主な変更点」および「変更点一覧」をご確認ください。

## 2 変更一覧

---

### 2.1 テスト・アンケート・レポート

- 時間切れや日時制限で自動終了になったとき、最後に表示していた設問の解答を保存しなかったときのメッセージを修正しました。(I3248)
  - 問題無く保存できたとき「回答は正しく保存されました。」
  - 一部の設問の回答を保存できなかったとき「保存できなかった回答があります。」
    - 加えて、保存できなかった設問番号と理由がエラー表示されます
  - 期限切れのために保存処理をしなかったとき「期限を超過しているため、最後に受け取った回答は保存できませんでした。」
- 複数選択式の設問では何か選択して保存してあると、チェックを全て外して保存し直しても選択解除した状態を上書き保存できませんでした。何も選択していない状態も回答として受け付けて保存できるようにしました。(I3248, I3295)

### 2.2 レポート採点

- リンク教材の、他のコースで提出された PDF のレポートファイルをプレビュー出来るようにしました。(I3253)
  - PDF の表示は WebClass の PDF ビューアを止めて、ブラウザの機能に任せるやり方にしました。

- 提出日を絞り込み条件にしたとき、日付の判定条件を修正しました。(I3253)
  - 条件の日付にタイムゾーンが考慮されないまま比較していたため、範囲指定した日のレポートが漏れていました。
- ルーブリックの配点の指定が採点画面で反映されない問題を修正しました。(I3253)
- 全てのレポートファイルをエクスポートしてダウンロードする機能の修正。(I3286)
  - CSV に列挙されるレポートの順番を、エクスポートしたときに画面の一覧に指定しているソート順に従うようにしました。
  - レポートファイルの更新日時に提出日時が反映されるようにしました。解答するソフトウェアが対応していれば、解答したレポートファイルの更新日時が提出日時になるように復元されます。
  - レポートファイルのファイル名パターンを変更しレポートファイルと添削ファイルが以下のようなパターンのファイル名で Zip に含まれます。
    - `001_ST00123_山田太郎_Q1_レポート.pdf`
    - `001_ST00123_山田太郎_Q1_corrected.pdf`
    - 先頭の `001` はレポートファイルの列挙順です。
  - `REPORT_GRADING_EXPORT_REPORT_FILE_NAME_USER_INFO_PATTERN` でユーザ情報のパターンを調整できます。
    - デフォルトは `%{username}_{realname}` です。
    - `%{studnet_id}` や `%{class_order_no}` といった指定が可能です。
      - 上記の例では、`ST00123_山田太郎`の部分が置き換わります
  - `REPORT_GRADING_EXPORT_REPORT_FILE_NAME_FORMAT = USERNAME_FIRST` と設定すると、`000` と `ST00123_山田太郎` との位置が入れ替わります。
    - `ST00123_山田太郎_001_Q1_レポート.pdf`
    - `DOWNLOAD_FILE_NAME_FORMAT` オプションは廃止になります。定義は `REPORT_GRADING_EXPORT_REPORT_FILE_NAME_FORMAT` に引き継がれます。
  - Mac から提出したレポートファイルがある時、ファイル名の濁点・半濁点を Unicode 正規化の `FORM_C` で統一してエクスポートするようになりました。(I3301)
    - ただし、サーバの PHP に `intl` モジュールがインストールされている環境でのみ、この対策が機能します。
- CSV ファイルで採点結果を取り込む時、取り込んだ結果のログファイルをダウンロード出来るようになりました。(I3301)

## 2.3 e ポートフォリオ・コンテナ

- ルーブリックの文中に挿入した改行が、ルーブリックが表示される画面で反映されない問題を修正しました。(I3289)

## 2.4 学習記録ビューア

- 学習記録ビューア v4.6.3 => v4.6.6
- コースルーブリックプラグイン v1.1.0 => v1.1.1
- 課題実施状況一覧プラグイン v3.3.2 => v3.4.0
- 修学カルテプラグイン v2.37.0 => v2.40.0
- シラバスプラグイン v1.9.0 => v1.10.0

## 2.5 その他

- システム管理者のコース管理機能で、学部・学科の並び替えをする時に1つ移動させるたびに選択が解除されていました。選択状態を維持して連続操作できるようにしました。(I3284)
- システム管理者のコース管理機能で、CSVによる一括更新ではコースの英語名をブランクで指定しても、すでに登録されている英語名をクリアできませんでした。CSVの通りに更新してクリアもできるようにしました。(I3284)
- マニュアルを更新しました。(I3293)

# Ver.11.14.2, v11.14.3 リリースノート

## 1 概要

---

レポート採点画面などの不具合修正です。

### 1.1 必要な環境

- WebClass ver.11.02 以上
- PHP require 5.3 ~ 7.3
- PostgreSQL require 8.4 ~ 13

### 1.2 アップデート時に確認が必要な点

v11.12.0 以降からのアップデートでは、アップデートに時間のかかる処理はありません。「主な変更点」および「変更点一覧」をご確認ください。

## 2 変更一覧

---

### 2.1 テスト・アンケート・レポート

- 表形式の設問を編集するとき、行タイトルや列タイトルに半角の‘0’の文字を入力すると行として認識されず、行や列が消えてしまう問題を修正しました。(!3328)

### 2.2 アンケート

- タイムラインから作成したアンケートを単数選択の2択か4択に設定していると、スマホで回答しようとするとき選択肢がダブって表示される問題を修正しました。(!3307)

### 2.3 レポート採点

- ルーブリック採点を使う課題で、ルーブリックを採点済みのレポートでコメントのみ変更して「保存」をクリックすると、ルーブリックの採点結果が消えてしまう問題を修正しました。(!3306)
- 点数を付けずにコメントを変更して「保存」をクリックしたとき、0点がかってについてしまう問題を修正しました。(!3311)
- ルーブリックの列タイトルの記述が長い時、省略表示されて全文表示できませんでした。ルーブリックの一番左上のセルをクリックすることで列タイトルの行も省略表示と全部表示を切り替えることができるようにしました。(!3311)

- 教材一覧の「未解答の答案」リンクおよび教材の公開状況ページにある「未済点数」リンクからレポート採点画面を開いたとき、デフォルトで「未解答だけの解答を除く」オプションを指定するようにしました。(!3311)
  - v11.13以前のバージョンではこのオプションが指定されていましたが、v11.14になったときにこのオプションが外れていました。

## 2.4 システム管理者

- コース&メンバーのダウンロード画面で、「指定日以降にアクセスがないコースに絞る」を指定しても出力に反映されない問題を修正しました。(!3331)
  - 出力するCSVに'last\_access'の列を加え、最終アクセス日時を確認できるようにしました。

## 2.5 その他

- 「やりたいことから参照できる WebClass の使い方」マニュアルを更新しました。(!3332)
- マニュアルを更新しました。(!3333)

## 2.6 v11.14.3 の変更点

- v11.14.2では、ユーザがログアウトしたときにログアウト時刻と利用時間が記録されない問題がありました。ログアウト時刻と利用時間が記録されるように修正しました。(!3342)

# Ver.11.14.4 リリースノート

## 1 概要

---

細かな使い勝手を改善するアップデートになります。単語数値入力の設問では、全角半角を無視するとき、ハイフンやスペースなど見た目はほぼ同じなのに文字コードが異なる文字も同じ文字として判定します。また、アカウントメニューにはFAQサイトのリンクを追加しました。

### 1.1 必要な環境

- WebClass ver.11.02 以上
- PHP require 5.3 ~ 7.3
- PostgreSQL require 8.4 ~ 13

### 1.2 アップデート時に確認が必要な点

v11.12.0 以降からのアップデートでは、アップデートに時間のかかる処理はありません。「主な変更点」および「変更点一覧」をご確認ください。

## 2 主な変更点

---

### 2.1 単語/数値入力の設問で、文字の区別の厳密さを緩和しました

スマートフォンで学生が回答する場合などに、見た目は同じだけど文字コードの異なる文字が使われることが多くなりました。このため、英語や数値、記号などの回答につかう「単語/数値入力」の設問では思ったように正解判定できないことが増えて来ていました。そこで、似た形の文字を同じ文字として判定するようにしました。

設問編集画面では、単語数値入力のオプションを指定する UI を変更し、デフォルトでは細かく違いをチェックしない設定になります。

単語/数値入力 回答枠の数 1

(1)の正答文字列/数値 ->

大文字小文字の違いを無視  する  しない

全角半角英数字の違いを無視  する  しない

全角半角スペースを無視  する  しない

Hint : 正答文字列欄に A or B のように入力することで複数の正解を指定することができます。  
Hint : 正答文字列に 'or' を含める場合は {A or B} の様に括弧で囲み、また '!' を含める場合は !! と入力してください。

解説 [» 全体を表示](#)

---

**正解リスト**

(1) 解なし

- 大文字小文字の違いを無視します。
- 全角半角英数字の違いを無視します。
- 全角半角スペースを無視します。

- 「大文字小文字を区別する・しない」を「大文字小文字を無視する・しない」に変更
- 「全角半角英数字を区別する・しない」を「全角半角英数字の違いを無視する・しない」に変更
- 「全角半角スペースを無視する・しない」

「大文字小文字を無視する」の設定では、ヨーロッパ語圏の文字も大文字小文字を区別なくなります。

「全角半角英数字の違いを無視する」の設定では、全角半角の違いに加えて、例えばユニコードの HYPHEN-NINUS と HYPHEN のハイフン・マイナスの記号なども一定のルールで同じ文字として区別なくなります。対応表は補助資料 loose-matching.docx を参照ください。

## 2.2 アカウントメニューに FAQ のリンクを追加

アカウントメニューの「マニュアル」の下に「FAQ（外部サイト）」というリンクを追加しました。

鈴木先生

- コースリスト
- アカウント情報の変更
- English
- クイックリファレンス
- マニュアル
- FAQ(外部サイト)
- ログアウト

更新 2ヵ月前  
実行者数 0

[ル設定](#)



リンク先は以下です。

<https://datapacific.zohodesk.com/portal/ja/kb/webclass-faq>

この URL はシステムオプション「FAQ\_URL」で変更できます。また、この値を空にするとリンクは表示されなくなります。

## 3 変更一覧

---

### 3.1 お知らせ

- 存在しない ID のお知らせを表示しようとしたときは「指定された ID のお知らせは見つかりませんでした」というエラーメッセージだけ、出してお知らせ一覧を表示しないようにしました。(I3338)

### 3.2 FAQ

- 学生、先生のアカウントメニューとシステム管理者メニュー画面に FAQ サイトのリンクを表示するようにしました。サイトの URL はシステムオプション「FAQ\_URL」で変更できます。(I3379)
  - リンクを非表示にする場合、システムオプション「FAQ\_URL」に空文字を指定する必要があります。

### 3.3 教材

- 「教材一覧」画面より「実行者数」リンクを開いて確認できる、「利用状況」および「学生成績」画面で、それぞれ[利用状況のダウンロード]と[学生成績のダウンロード]ボタンをクリックすることで、表示している表を CSV ファイルでダウンロード出来るようにしました。(I3391)

### 3.4 テスト・レポート・アンケート

- 記述式またはファイル提出の設問で、採点用ループリックの行数を列の数よりも少なく設定することができない問題を修正しました。(I3347)
- 一問一答の教材で解答チェックしたとき、正解表示の選択肢の添え字が「選択肢の添え字」オプションにかかわらず番号で表示される問題を修正しました。(I3350)
  - 設問の解説に PDF や HTML を取り込んでいるときにこの問題が起きていました。
- スマホで単語数値入力 of 設問の回答を開き直して見直しすると、記号が HTML エスケープされてしまう問題を修正しました。(I3352)
- しおりから再開した直後に設問を切り替えると、切り換える前の設問の回答が未解答に戻ってしまう問題を修正しました。(I3352)
- 記述式の設問で、「設問編集画面」のキーワードテストまたは「レポート/記述式問題の採点」のレポート採点で、キーワードに半角数字が含まれていると、キーワードがうまくハイライトされないことがある問題を修正しました。(I3381)

- 「レポート/記述式問題の採点」の「ファイル出力」の csv 出力の文字エンコーディングは UTF-8BOM がデフォルトとしました。SJIS はオプションで選ぶことが可能です。(I3357, I3398)
  - Excel で開けて、かつ文字化けが起きにくくなります。
- 単語/数値入力のオプション「大文字小文字を区別しない」を選択しても、ヨーロッパ言語などの ASCII 文字以外のアルファベットの大小文字を区別してしまう問題を修正しました。(I3369)
- 単語/数値入力にあるオプション名を変更しました。(I3369)
  - 「大文字小文字を区別する・しない」=>「大文字小文字の違いを無視する・しない」
  - 「全角半角英数字を区別する・しない」=>「全角半角英数字の違いを無視する・しない」
  - 前バージョンの WebClass と、オプションの意味合いが異なっているので注意してください。例)「大文字小文字を区別する」=「大文字小文字の違いを無視しない」
- 単語/数値入力の「全角半角英数字の違いを無視する」を選択した際、似ている文字をまとめて正解するようにしました。(I3369)
  - 例:ハイフン(U+2010)とマイナス(U+2212)は同じ文字として扱う。
  - その他の似ている文字は補助資料 loose-matching.docx を参照してください。

### 3.5 レポート採点

- 学生の氏名や ID を検索する文字列をワイルドカードに対応させました。(I3339)
  - v11.13.2 までのレポート採点機能と同様に \* でワイルドカード、? で任意の 1 文字にマッチし、or で条件を連結できます。
- 通常のレポート採点の得点記入欄横のデフォルトに 0 を追加しました。(I3411)
- レポート提出か記述式の設問が複数あってランダム出題のとき、採点画面に表示される設問の順番がユーザによってランダムになっていました。元の設問番号の順に並ぶようにしました。(I3414)
- 「レポート一覧を開く」のボタンで開く一覧画面では、提出日の絞り込みが機能していなかったのを修正しました。(I3414)

### 3.6 ユニット

- ユニット教材を利用しているとき、次の教材の開始確認画面を開いたタイミングでは教材の学習履歴が記録されないようにしました。(I3358)
  - ユニットの学習履歴は、ユニットを開始した時点から教材一覧に戻るまでの時間が記録されます。教材の開始確認画面を開いている時間も利用時間に含まれます。
  - ユニットの中の教材は、開始確認画面を開いている時間は利用時間に含まれません。

### 3.7 成績集計

- 学生が「成績集計」の[利用時間]を確認するとき、利用時間の合計とコース平均利用時間の合計の値が、実際に表示されているそれぞれの値の合計と整合性が取れていなかった問題を修正しました。(I3403)

- 学生が「成績集計」の[利用時間]を確認するとき、利用時間の合計とコース平均利用時間の合計が、24 時間を超えていた場合に正しく表示されていなかった問題を修正しました。(I3403)

### 3.8 出席

- コース名が長い(235Byte より大きい)コースにおいて、出席状況一覧画面でエラーが発生する問題を修正しました。(I3383)
  - 長さ上限に該当したコースでは、出席一覧のファイル名に、コース名ではなくコース ID が設定されます。

### 3.9 LTI

- LTI1.3 通信時、ツールへ送信する context\_label のキー名が間違っていた点を修正しました。(I3334)
- LTI ツール設定画面で、ポップアップヘルプの文言が間違っていた点を修正しました。(I3334)
- LTI1.3 通信時、ツールへ送信する context\_label の値にコース名を設定するよう変更しました。(I3377)

### 3.10 教材ラベル

- 「教材並び替え/ラベル設定」の[新しいラベル]と[ラベル修正]からラベル名を設定する時、ラベル名の前後にスペースを許容してしまう問題を修正しました。(I3387)
  - この問題により、見た目で見分けることが困難な同名のラベルを作ることが可能でした
- 「教材並び替え/ラベル設定」の[新しいラベル]と[ラベル修正]からラベル名を設定する時、全く同じ名前の異なる ID を持ったラベルを作ってしまう問題を修正しました。(I3387)

### 3.11 学習記録ビューア

- 学習記録ビューア v4.6.6 => v4.6.8
- 修学カルテプラグイン v2.40.0 => v2.42.0
- 授業評価アンケートプラグイン v2.18.0 => v2.19.1
- シラバスプラグイン v1.10.0 => v1.12.0

### 3.12 教務連携

- 仕様とプログラムの標準化を行いました。(I3365)

### 3.13 その他

- ログイン前後で同じセッション ID を使用するとなりすまし等のセキュリティ上の問題があったため、ログイン時にセッション ID を再生成するように変更しました。(I3374)
- マニュアルを更新しました。(I3413)

# WebClass Ver.11.14.5 リリースノート

## 1 概要

---

細かな使い勝手を改善するアップデートになります。レポート採点画面では、問題文と解説を確認できるように、また画面上でレポートの代理提出を出来るようになりました。

このバージョン以降、PHP5.3 はサポート外となります。

### 1.1 必要な環境

- WebClass ver.11.02 以上
- PHP require 5.4 ~ 7.4
- PostgreSQL require 8.4 ~ 13

### 1.2 アップデート時に確認が必要な点

v11.12.0 以降からのアップデートでは、アップデートに時間のかかる処理はありません。「主な変更点」および「変更点一覧」をご確認ください。

## 2 主な変更点

---

### 2.1 単語/数値入力の設問で、Unicode 正規化

「テスト」の「単語数値入力」で[全角半角英数字の違いを無視する]のオプションを選択すると Unicode 正規化をした後に正誤判定をするようにしました。例えばウムラウト「ä」には「ä」一文字で表す方法と「a+¨」のようなウムラウト記法を分ける書き方があります。どちらの書き方をしても同じ文字として正解文字とマッチングします。

ただし、Unicode 正規化をしたマッチングを有効にするにはサーバに *php-intl* パッケージが導入されている必要があります。

互換性変換を行ったことにより一部の文字がルーズマッチングされるようにしました。詳しくは「*loose-matching.docx*」を参照してください。

### 2.2 「複数選択式」の設問

「設問編集」画面で「複数選択式」を選択した時、[選択肢ごとに正誤を採点する]オプションを追加しました。利用するにはシステムオプション `TRUE_OR_FALSE_STYLE_MULTIPLE_CHOISE` を 1 にします。

編集

## 2.3 「レポート/記述式問題の採点」画面

[問題と解説を表示する]ボタンを押すと、その設問の問題と解説が表示できるようにしました。

また、学生がレポートを未提出の時は先生が画面上で代理提出することが出来るようになりました。

## 3 変更一覧

---

### 3.1 時間割

- 年を越した後から始まる学期の期間中に、時間割で自動的に設定される学期が「ALL」になってしまう問題を修正しました。(I3588)
  - 例えば2月1日～3月31日のように設定された学期があって、2月10日に時間割を表示したときに起きていました。

### 3.2 教材一覧

- 教材の並び替え画面を開いたとき、既存のラベルや教材が表示されない事がある問題を修正しました。(I3569)

### 3.3 出席

- 「出席一覧/修正」画面の「出席一覧のダウンロード」リンクをクリックしたときは、UTF-8BOMのCSVファイルを直接ダウンロードするようにしました。(I3422)
  - Excelでファイルを開いたときに、文字化けしなくなりました。
  - 上記に伴い、文字エンコーディングがSJISのCSV出力は選択できなくなりました。
- 「出席データ修正」画面で、修正理由に任意の文言を設定できるようにしました。(I3442)
- 「出席状況一覧」画面に、「入学年度」、「ふりがな」、「学科」を表示できるようにしました。(I3442)
  - システムオプション「USE\_PROFILE\_COLUMN」が「1」であり「USE\_PROFILE\_COLUMN\_LIST」に「admitted\_year」が含まれているとき「入学年度」、「furigana\_name」が含まれているとき「ふりがな」、「dept」が含まれているとき「学科」列を表示します。

### 3.4 テスト教材

- 教材の「設問編集」画面で「問題スタイル」に[記述式]を指定した時に選択できる[キーワードテスト]において、ダブルクォーテーションで囲っていないキーワードも正規表現と解釈される問題がありました。ダブルクォーテーションで囲っていないキーワードは文字列と解釈するように修正しました。(I3451)
  - この修正により、実際の採点機能と同じようにキーワードテストが動作するようになりました。
- 教材の「設問編集」画面で「単数選択式」「複数選択式」および「選択肢のみ」の設問形式の時、正解をチェックするよう注意書きを加えました。(I3533)
- 「設問編集」画面で「複数選択式」を選択した時、[選択肢ごとに正誤を採点する]オプションを追加しました。(I3484)
  - システムオプション TRUE\_OR\_FALSE\_STYLE\_MULTIPLE\_CHOISE を1に設定すると利用できます。
  - このオプションを選択すると、正誤問題形式の設問を作成できます。
- 「分岐条件設定」画面に「必須」オプションの注意書きを追加しました。(I3464, I3533)

- コース教材の「設問編集」画面で「問題スタイル」に[ドロップダウン選択肢]を選択した際に、問題表示の時に選択肢に振られていた番号を削除して回答に表示されていた番号も合わせて削除しました。(I3479)
- `ENABLE_DRAG_AND_DROP_FILE_UPLOADING_UI` が有効な環境では、レポート提出したときに受け取る受領通知メッセージの本文に、実際に提出したのとは別の設問番号が書かれていた問題を修正しました。(I3488)
- ルーブリック編集画面でルーブリックを削除したとき、削除結果のメッセージを画面に表示するようにしました。(I3498)
  - これまでは確認ダイアログが出た後、画面がリセットされるだけでその後にどのような操作をしたらいいかわかりにくくなっていました。
- 「テスト」の「単語数値入力」で[全角半角英数字の違いを無視する]のオプションを選択すると Unicode 正規化をした後に正誤判定をするようにしました。(I3564)
  - この機能は `php-intl` パッケージが `webclass` にインストールされていないと有効化されないことに注意してください。
  - この変更により目視で区別しにくい分解された文字と合成済文字がルーズマッチングされるようにしました。例えばウムラウト「ä」には「ä」一文字で表す方法と「a+¨」のようなウムラウト記法を分ける書き方がありますが、そのような文字がルーズマッチングされるようにしました。
  - 互換性変換を行ったことにより一部の文字がルーズマッチングされるようにしました。詳しくは「`loose-matching.docx`」を参照してください。
- 教材の「設定」画面で「ピアレビュー」の項目に[する]を設定している時、教材の「公開状況」画面の「ピアレビュー」の項目の[>>開く]リンクから開ける「ピアレビュー」画面に「X で表示されたデータを集計に反映する」のチェックボックスを追加しました。(I3562)
  - これまでは、教材に設問を 2 問以上設定している時に、ピアレビューで採点していない設問が存在した場合に他の設問の点数とコメントも見られなくなっていました。
  - この変更により、ピアレビューで点数に[未評価]が入力されている場合でも、採点済みの設問の点数と全ての設問についてのコメントを確認できるようになりました。

### 3.5 問題ごとの成績

- 「`contents.zip`」ファイルの中に設問の添付ファイルも出力するようにしました。(I3539)

### 3.6 資料教材

- 資料のページ編集画面で、データ送信中には「節タイトルに切り替える」ボタンや表示するページの切り替えボタンを連続して操作できないようにしました。(I3581)

### 3.7 学習カルテ

- 学習カルテの「プロフィール」の欄に[進捗状況一覧]を選択している時、学生ユーザーがその学習カルテを開いた際に一定数以上の未実行の教材が存在するとシステムエラーが発生する問題がありました。問題の数以上の未実行の教材が存在してもシステムエラーが発生しないように修正しました。(I3528)

### 3.8 レポート採点

- 「レポート/記述式問題の採点」画面で[問題と解説を表示する]ボタンを押すと、その設問の問題と解説が表示できるようにしました。(I3440)
- コースの成績画面に学籍番号または出席番号を表示している環境ではレポートの一覧を表示できない問題を修正しました。(I3452)
  - `USE_PROFILE_COLUMN_LIST`による設定が影響します。
- 「レポート/記述式問題の採点」画面で学生の未提出設問の「レポート」の欄に代理提出ボタンを追加しました。(I3501)
  - この機能を利用するとレポート未提出の学生から受け取ったレポートを先生方が **WebClass** にアップロードできます。
  - ただし現時点では一度アップロードすると取り消すことはできなくなるため、ご注意ください。
- 「ファイル出力」および「採点結果の読み込み」において、処理結果をブラウザが受け取るための **Javascript** のタイムアウト時間を 60 分に伸ばしました。(I3550)
  - 利用環境によってはサーバの設定により短い時間でタイムアウトすることがあります。

### 3.9 メッセージ

- 「メッセージ」画面で、本来メッセージ送信ができないユーザ間でメッセージの返信ができてしまう不具合がありました。メッセージの送信ができないユーザのメッセージから[返事を書く]ボタンを使用できないようにし、その理由を表記するように変更しました。(I3574)

### 3.10 ファイルの変換

- テストや資料でオフィスファイルを取り込んだときの変換処理モードを指定するシステムオプション `LIBREOFFICE_CONVERT_INTERFACE` を追加しました。(I3540)
  - LibreOffice 7 を利用している環境では `cli` を指定できます。変換処理の安定性が向上します。

### 3.11 教材一括コピー機能

- コピー中には画面操作をしないよう画面に注意書きを加えました。(I3582)

### 3.12 類似レポート検知

- 2つのタブを操作して片側のタブでログアウトして再ログインした後、もう片側のタブで「類似レポート検知」機能を実行した際、全てのコースから閲覧可能な類似レポート検知結果が生成できてしまう問題がありました。該当の操作をしても類似レポート検知結果が生成されないように修正しました。(I3480)

### 3.13 成績評価

- CSV で点数を取り込むとき、ファイル形式チェックで CSV ファイルがはじかれてしまうケースがあったため、チェックのルールを緩和しました。(I3532)



### 3.14 マニュアル

- 「やりたいことから参照できる WebClass の使い方」マニュアルを更新しました。(I3454)
- WebClass システム管理者およびコース管理者、ユーザ、ゲストマニュアルを更新しました。(I3586)
- e ポートフォリオ・コンテナ コース管理者およびユーザマニュアルを更新しました。(I3586)

### 3.15 ログアウト

- ログアウトをした画面でブラウザの「戻る」操作を効きにくくしました。(I3493)
  - ログインし直さないとログイン中の画面を見られないようにするためですが、ブラウザの仕様により確実に防げるものではありません。

### 3.16 教務連携

- コース情報連携時にコースパスワードがクリアされてしまう不具合を修正しました。(I3467)
- 重複するコース名が連携された時、末尾に付加される id に不要な”)“が追加される不具合を修正しました。(I3467)
- 同期モード設定のカスタム設定について、設定開始・終了日に同じ日付を設定すると有効化されない不具合を修正しました。(I3474)

### 3.17 WebClass のアップデート

- WebClass をアップデートするときに、/webclass/assets/ディレクトリの不要なファイルを削除するようにしました。(I3419)

### 3.18 WebAPI

- 学生成績取得 API を実装しました。(I3512)
  - 教材を指定して、学生ごとの成績情報を WebAPI から取得できるようになりました。
- 利用状況取得 API を実装しました。(I3512)
  - 教材を指定して、学生ごとの利用状況を WebAPI から取得できるようになりました。
- 学習履歴取得 API を実装しました。(I3512)
  - 教材を指定して、利用ごとの学習履歴を取得できるようになりました。

### 3.19 学習記録ビューア

- 学習記録ビューア v4.6.8 => v4.6.11
- 修学カルテプラグイン v2.42.0 => v2.45.1
- 授業評価アンケートプラグイン v2.19.1 => v2.20.1
- シラバスプラグイン v1.12.0 => v1.16.0
- 課題実施状況一覧 v3.4.1 => v3.5.5